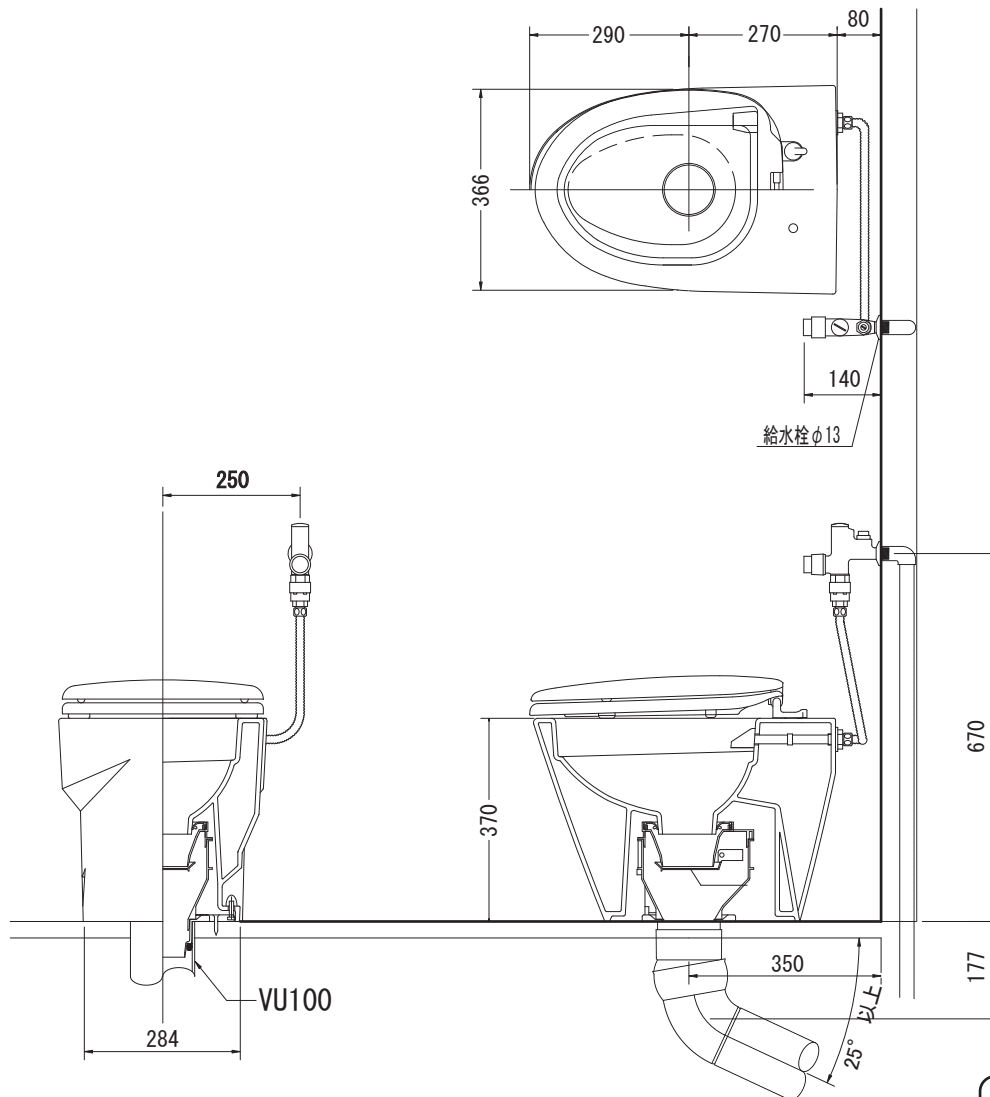


1

設計図



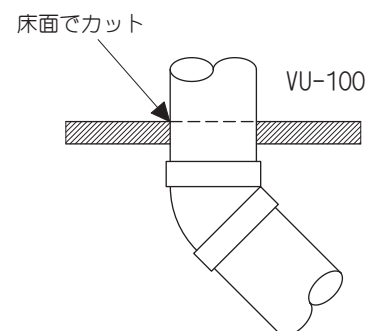
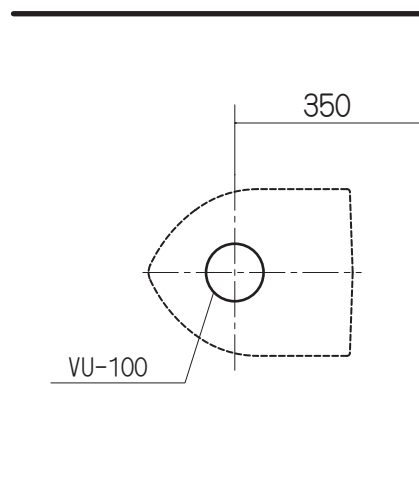
- 注 意 事 項
- 水道局の許可を確認の上、設置してください。
 - 水圧0.15MPa以下、0.74MPa以上のところには設置しないでください。
 - 水道配管および給水器具は、しっかりと固定すること。
 - 洗浄管を接続する前に配管内のゴミ抜きを必ず行ってください。これを怠りますと、止水不良の原因となります。取り付け当初に配管ゴミを出し切ってしまうと、以後止水不良の原因となるようなゴミはほとんど出ません。

米バキュームブレーカーは、便器内吐出口（噴射ノズル）より必ず上方に取り付けることとし、その高低差は250mm以上に設けること。

注意：
器具取付前に、配管内のゴミ及び切りカスは、完全に取って去ってから接続してください。

2

床穴寸法図



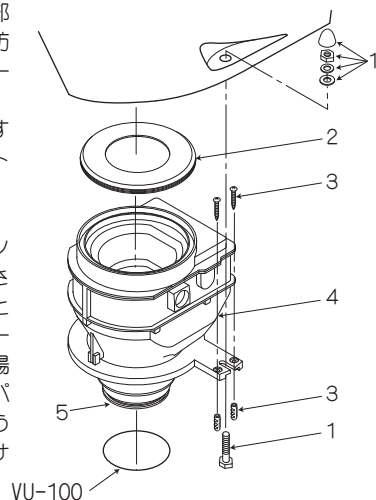
パイプは、必ず床面より出っ張らないようにカットしてください。

3

本体取付

●シーリングパッキンは接続部からの水漏れと臭気漏れを防止するための部品です。万一取り付けをやり直す場合は、配管中にパッキンが残りますので、もう一度床置型ロートに取り付けてください。

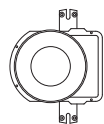
●床置型ロートに差込パッキンをしっかり差し込んでください。取り付けが不十分だと漏水の原因になります。万一便器の取り付けをやり直す場合は、便器の排便口に差込パッキンが残りますので、もう一度床置型ロートに取り付けてください。



No	部品番号	部品名	数量	備考
1	※AZ-04510	陶器取付ボルトセット類	1	代表番号
2	AZ-05701	差込パッキン	1	
3	AZ-04500	床フランジ取付ビスセット	1	
4	AZ-05101	床置型ロートセット	1	
5	AZ-06269	シーリングパッキン	1	

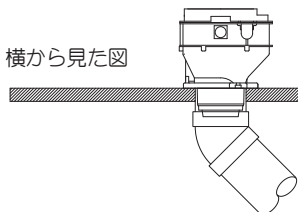
※印は色を指定してください。

上から見た図



床置型ロートセットを取り付けます。

横から見た図



●陶器取付ボルトと便器の陶器取付穴を合わせながら便器を上からかぶせてセットし、ナットで固定してください。



4

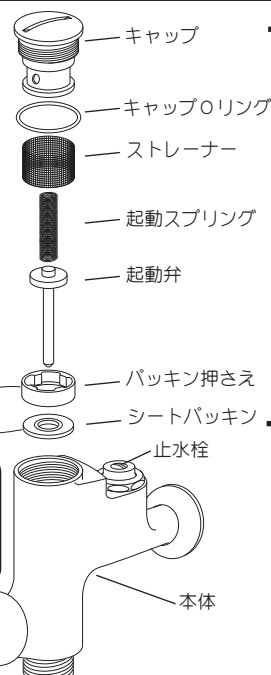
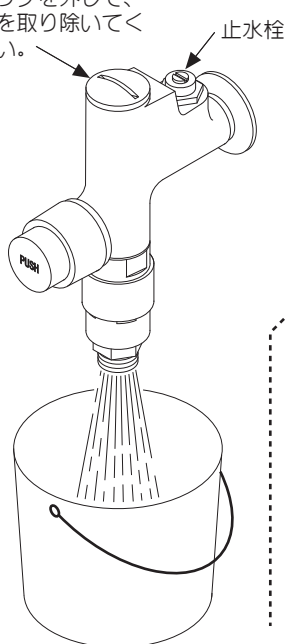
給水器具取付

1. 器具取付前に
配管内部のゴミ及び切りカスは、完全に取去ってから接続してください。

2. 器具取付時に
13mm給水ソケットと器具の接続の際、シーリング剤等が内部にはみ出さないように十分に注意してください。

3. 器具取付後に
右図のように、バケツに2～3杯、水を勢よく流してください。これを怠りますと、止水不良の原因となりますので必ず実行してください。その後、エアフラッシュのストレーナーを外し、内部を水洗いしてください。

※キャップを外して、ゴミを取り除いてください。



品名：
エアフラッシュ
用キュップ&新起
動弁セット
品番：AZ-03765

バックシン押さえの下側の溝にシートパッキンの突起のある面を上にしてはめてから本体にセットしてください

5

フリーチューブの取付と水量調整

1. フリーチューブの取付

- 便器側から取り付けてください。
フリーチューブの根元付近を90度の曲げてゴムパッキンを挟み袋ナットを仮締めしてください。
- 給水側は、器具の位置に合わせて折り曲げてゴムパッキンを挟んで袋ナットで締め付けてください。
- 仮締めした便器側の袋ナットを締め付けてください。
※便器側のネジが樹脂製なので締め過ぎに注意してください。
- 袋ナット部の水漏れがないか確認してください。

2. 水量調整

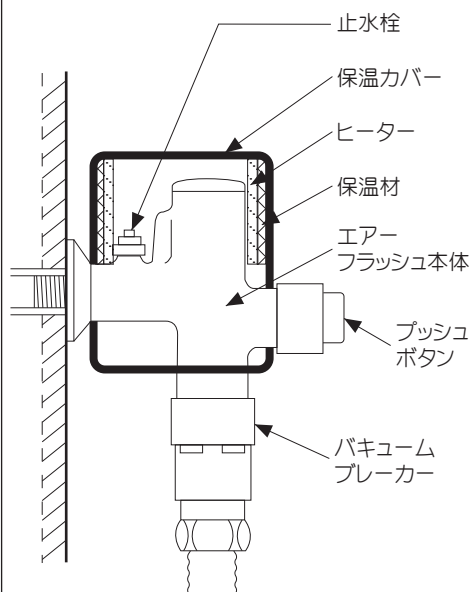
- エアフラッシュの止水栓で調整します。
- 洗浄水の勢いが強く便器から飛び出す場合、止水栓を閉めて調整してください。
 - 洗浄水の勢いがなく便器全体に流れない場合、止水栓を開いて調整してください。



6

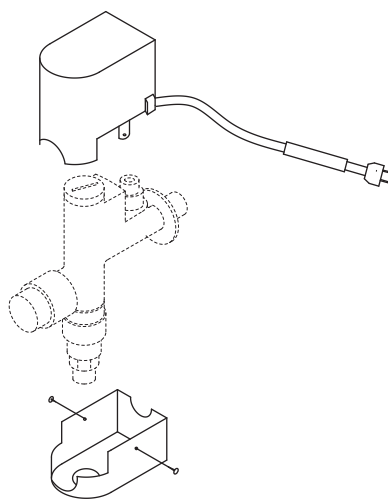
防寒型・凍結防止対策

- 室温が5℃以下にならないとヒーターの電源が入りません。室温が17℃以上になると自動的に電源が切れます。
- このヒーターは室温が-5℃まで耐えられます。-5℃以下になるような場合は、凍結防止対策を行ってください。
- 長期不在する場合は、電源プラグを抜いてください。凍結時期の場合は、凍結防止対策を行ってください。

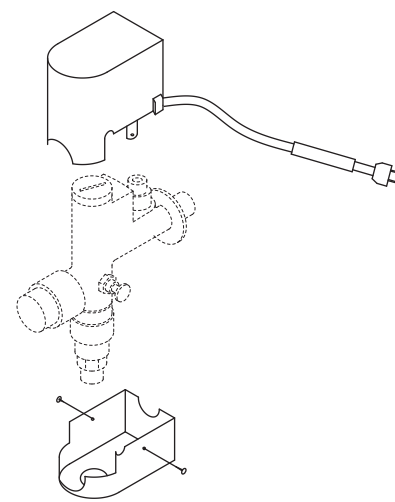


家庭用100V 3.3W
JET 1327-81069-1002

品番:AZ-12321
品名:エアフラッシュ用保温ヒーター



品番:AZ-12322
品名:寒冷地用エアフラッシュ用保温ヒーター



配管注意事項

1. 配管材料

- ①管の外観・形状・材料は、JISK 6741(硬質塩化ビニール)によるものとし、肉厚は、污水館にあっては2mm以上、排気管にあっては1.5mm以上であること。
- ②継手は①に準ずるものとし、污水管用は、汚物の流下に支障のない形状・構造を有するものであること。
ただし、継手の肉厚は、ブロー成型品に限り、少なくとも①の80%とすること。

2. 污水管

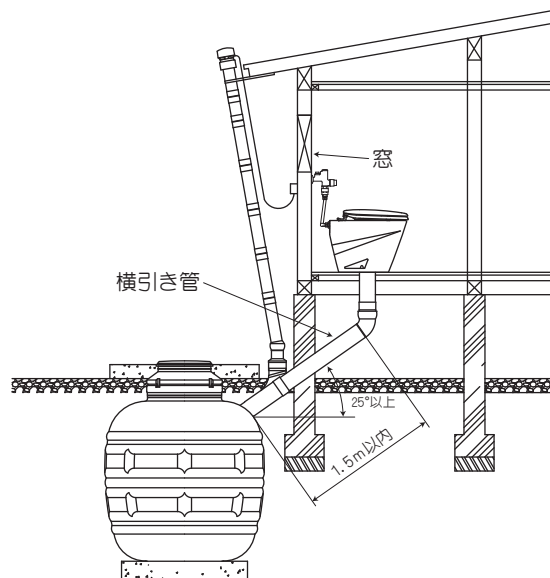
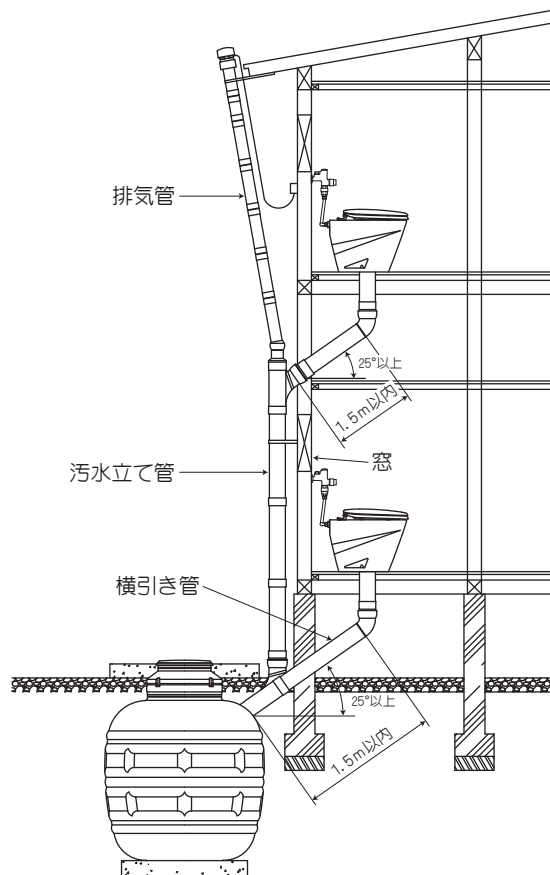
- ①污水管の関係は、呼び径100以上とすること。
- ②横管の管長(実長)は、1.5m以内、勾配は25°以上とすること。
- ③エルボの個数は、極力少なくすること。
- ④配管等の接合部は、十分な耐久性、水密性、気密性を有すること。

3. 排気管

- ①管長(直管実長)が1.5mを超える污水立て管を設ける場合は、その上部等から排気管をとるなど適切な排気装置を設けること。
- ②排気管の先端には、排気トップ等を設けること。
- ③排気トップ等は、防臭機能に支障を来さない性能であること。
※電動ファンを取り付ける場合、10W未満のこと。
- ④排気トップの下端には、建物の出入口・窓・換気口などの上端から600mm以上高い位置に設けること。
- ⑤排気管の管径は呼び径50以上とすること。
- ⑥排気管の接合部は、十分な耐久性、気密性を有すること。
- ⑦管長(直管実長)が1.5m以下の污水立て管で排気管を設ける場合は、②～⑥と同様の施工をすること。

4. 配管の通水試験

工事完了後次のような通水試験を行うこと。
10リットルの水を1回以上流して漏水の有無を調べる。



ロンシー機器株式会社

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-6・東邦センタービル2F
☎ 03(3862)9825 FAX03(3862)9810

ホームページアドレス <http://www.lonsealkiki.co.jp/>

札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南3条西12丁目325-2番地・キャピタルビル204号 ☎ 011(272)1013(代)
仙台駐在所 〒984-0037 仙台市若林区蒲町字東29-1・ホワイトキャッスル蒲町ビルA-105 ☎ 022(294)1120(代)
東京営業所 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-6・東邦センタービル2F ☎ 03(3862)9817(代)
大阪営業所 〒532-0002 大阪市淀川区東三国4-15-12・シオザキビル2F ☎ 06(6397)6502(代)
福岡営業所 〒815-0041 福岡市南区野間1-1-19・高宮駅前ビル501 ☎ 092(552)1322(代)